

**天王寺動物園 第一期リニューアル整備事業
設計施工業務プロポーザル評価要領**

1. 評価要領の位置付け

本要領は、天王寺動物園 第一期リニューアル整備事業 設計施工業務プロポーザル募集要項に基づき、評価点の算出方法及び受託者の選定方法を示すものである。

2. 評価方法及び受託者の選定

- (1) 客観評価、技術提案書評価及び見積書評価を行い、優先交渉権者を選定する。
- (2) 客観評価は、事務局が参加者の同種・類似業務実績を元に参加者の評価を行う。
- (3) 技術提案書評価は、「天王寺動物園 第一期リニューアル整備事業 設計施工業務プロポーザル審査委員会」（以下「委員会」という。）が業務提案書及びプレゼンテーション、ヒアリングにより審査を行う。
- (4) 提出された技術提案書は、提案者名を伏した上で提案者番号を付した後、付属資料を添えて各委員へ事前に配布する。事前に客観評価の資料を添付する。
- (5) 客観評価、技術提案書評価及び見積書評価の評価点合計は下記の通りとする。

評価項目		評価配点
客観評価		120.0
技術提案評価	業務実施方針評価	120.0
	テーマ1評価	140.0
	テーマ2評価	100.0
見積書評価	見積書提案(1)評価	80.0
	見積書提案(2)評価	40.0
総合計		600.0

- (6) 委員会は評価点総合計が最も高いものから優先交渉権者1者、次点候補者1者を選定する。但し評価点が300点未満の参加者は失格とし受託候補者に選定しない。

3. 客観評価

- (1) 参加者の評価及び各業務担当者の評価により審査を行い、配点基準の詳細は以下のとおりとする。

評価項目			評価基準			配点		
客 観 評 価	参加者の 評価	同種・類似業務 の実績	A 基礎配点×B 同種・類似 業務の実績の区分係数（設 計・施工で各最大3件）	設計		30.0		
				施工		30.0		
	各業務 担当 者の 評価	同種・類似・その他業務の 実績	A 基礎配点×B 同種・類似・その他業務の実績の区 分係数×C 業務担当実績 の担当係数（設計・施工で 各最大3件）	設 計	管理技術者		6.0	
					主任 担当者	建築（総合）		6.0
						建築（構造）		6.0
						電気設備		6.0
						機械設備		6.0
						コスト		6.0
				施 工	現場代理人		12.0	
					監理技術者		12.0	
合 計						120.0		

(2) 参加者の評価方法

参加者の同種業務または類似業務の実績（様式 3-1、3-2）（実績の区分及び件数）について設計実績と施工実績の評価を行う。募集要項Ⅲ_3. (13) に該当する業務実績 3 件を 1 件当り基本配点 10 点として、区分係数及び担当係数を乗じた点数を合計し、最大 30.0 点として評価する。なお、同種用途または類似用途の実績が 1 件以上あること。

① 基礎配点（最大で 3 件）

基礎配点
10.0

② 同種業務及び類似業務実績

実績	区分係数
同種業務	1.0
類似業務	0.8

*評価点の計算は下表のとおりとなる。

基礎配点 A	区分係数 B		評価点 A × B	合計
10.0 (最大件数 3)	同種	1.0	最大評価 10.0 (3 件で最大 30.0)	30.0
	類似	0.8		

(3) 各業務担当者の業務実績（管理技術者、各主任担当者など）（様式 4-1～8）

同種業務または類似業務の実績（実績の有無及び過去の実績での立場）について評価を行う。平成 19 年 4 月 1 日以降に履行した設計、施工の実績各 3 件を 1 件当り基礎配点、設計：2.0 点施工：4.0 点に区分係数及び担当係数を乗じた点数を合計し、最大、設計：6.0、施工：12.0 点として評価する。

設計（6人）		施工（2人）	
①基礎配点：A（最大で3件）			
基礎配点：2.0		基礎配点：4.0	
②同種業務または類似業務実績 区分係数：B			
同種業務	区分係数：1.0	同種業務	区分係数：1.0
類似業務	区分係数：0.8	類似業務	区分係数：0.8
その他業務	区分係数：0.6（管理技術者を除く）	その他業務	区分係数：0.6
③ 業務担当実績 担当係数：C			
過去の実績での立場		過去の実績での立場	
管理技術者	担当係数：1.0	現場代理人	担当係数：1.0
主任担当者	担当係数：0.8	監理技術者	担当係数：1.0
担当者	担当係数：0.6	主任技術者	担当係数：0.8
		担当者	担当係数：0.6

※ 計算は下表のとおりとなる。

担当業務 分野（基礎配点） A		区分係数 B		担当係数 C		評価点 A × B × C	合計
設計	管理技術者 (2.0)	同種	1.0	管理技術者	1.0	3 件で最大 6.00	60.0 （少数 点第 2 位四捨 五入）
		類似	0.8	主任担当者	0.8		
				担当者	0.6		
	建築（総合） (2.0)	同種	1.0	管理技術者	1.0	3 件で最大 6.00	
		類似	0.8	主任担当者	0.8		
		その他	0.6	担当者	0.6		
	建築（構造） (2.0)	同種	1.0	管理技術者	1.0	3 件で最大 6.00	
		類似	0.8	主任担当者	0.8		
		その他	0.6	担当者	0.6		
	電気設備 (2.0)	同種	1.0	管理技術者	1.0	3 件で最大 6.00	
		類似	0.8	主任担当者	0.8		
		その他	0.6	担当者	0.6		
	機械設備 (2.0)	同種	1.0	管理技術者	1.0	3 件で最大 6.00	
		類似	0.8	主任担当者	0.8		
		その他	0.6	担当者	0.6		
	コスト (2.0)	同種	1.0	管理技術者	1.0	3 件で最大 6.00	
		類似	0.8	主任担当者	0.8		
		その他	0.6	担当者	0.6		
施工	現場代理人 (4.0)	同種	1.0	現場代理人	1.0	3 件で最大 12.00	
				監理技術者			
		類似	0.8	主任技術者	0.8		
		その他	0.6	担当者	0.6		
	監理技術者 (4.0)	同種	1.0	現場代理人	1.0	3 件で最大 12.00	
				監理技術者			
		類似	0.8	主任技術者	0.8		
	その他	0.6	担当者	0.6			

4. 技術提案書（業務実施方針）評価

（1）技術提案書（業務実施方針）評価方法

ア 業務実施方針は提案者の名を伏した上で、その内容についてのプレゼンテーション及びヒアリングの結果を含め、本要領に基づいて各委員が評価する。

イ 評価項目及び評価基準、配点は、以下のとおりとする。

（2）業務実施方針【審査委員5人・最高120点】（様式5-2）

採点は業務実施方針のプレゼンテーション及びヒアリング終了後、各委員が以下の評価基準に基づき評価する。

評価項目	着眼点	判断基準	基礎配点	配点計
① 本事業に有用な優れた設計・施工の技術を有する者が効果的にチームを組み、各々が相乗的に連携しながら、円滑かつ効率的・効果的な整備を行う体制の提案	優れた設計・施工の技術を有する者が効果的にチームを組む提案であるか。	優れている	2.00	8.00×5人 =40.00
		やや優れている		
		普通である		
		やや劣っている		
		劣っている		
	設計・施工が相乗的に連携する提案であるか。	優れている	3.00	
		やや優れている		
		普通である		
		やや劣っている		
		劣っている		
	効率的・効果的な体制の提案であるか。	優れている	3.00	
		やや優れている		
		普通である		
		やや劣っている		
		劣っている		
② 多様な関係者等と連携・協調しながら、円滑かつ効率的・効果的な整備を行う体制の提案	多様な関係者等と連携・協調する提案であるか。	優れている	4.00	8.00×5人 =40.00
		やや優れている		
		普通である		
		やや劣っている		
		劣っている		
	効率的・効果的な体制の提案であるか。	優れている	4.00	
		やや優れている		
		普通である		
		やや劣っている		
		劣っている		
③ 設計・施工者が有する優れた技術を活用するなど、よりよい整備とするための取組方針の提案	優れた技術を活用する提案であるか。	優れている	8.00	8.00×5人 =40.00
		やや優れている		
		普通である		
		やや劣っている		
		劣っている		
合 計 （少数点第2位四捨五入）				120.0

*評価点の計算は下表のとおりとなる。

判断基準	評価係数	基礎配点 2.0 点	基礎配点 3.0 点	基礎配点 4.0 点	基礎配点 8.0 点
優れている	1.00	2.00	3.00	4.00	8.00
やや優れている	0.75	1.50	2.25	3.00	6.00
普通である	0.50	1.00	1.50	2.00	4.00
やや劣っている	0.25	0.50	0.75	1.00	2.00
劣っている	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

5. 技術提案書（テーマ1、2）評価

（1）技術提案書（テーマ1、2）評価方法

ア 技術提案書（テーマ1、2）及び技術提案書（技術提案を補足する資料）は提案者の名を伏した上で、その内容についてのプレゼンテーション及びヒアリングの結果を含め、本要領に基づいて各委員が評価する。

イ 評価項目及び評価基準、配点は、以下のとおりとする。

（2）技術提案書【審査委員5人・最高240.0点】（テーマ1様式5-3・テーマ2様式5-4）

ア テーマ1に関する技術資料を補足する資料

提案図面（様式5-8）・提案計画概要（様式5-9）・イメージパース（様式5-10）

イ テーマ2に関する技術資料を補足する資料

事業全体工程（様式5-5）・仮設計画（事業期間全体）（様式5-6）・工事工程（様式5-7）

ウ 特許技術に関する補足説明資料（様式5-11）は提案内容によりテーマ1またはテーマ2の技術資料を補足する資料とする。

（3）採点はプレゼンテーション及びヒアリング終了後、各委員が以下の評価基準に基づき評価する。

【テーマ1】

評価項目	着眼点	判断基準	基礎配点	配点計
① 世界に誇れる動物園としてアピール出来る、動物福祉・人の安全安心を前提とした、獣舎のデザイン・空間演出や高揚感を感じるランドスケープ（風景・景観）の方針及び具体的提案	動物福祉・人の安全安心を前提とした提案であるか。	優れている	9.00	18.00×5人=90.00
		やや優れている		
		普通である		
		やや劣っている		
		劣っている		
	獣舎のデザイン・空間演出や高揚感を感じるランドスケープとなった提案であるか。	優れている	9.00	
		やや優れている		
		普通である		
		やや劣っている		
		劣っている		
② ①の実現から維持管理までのライフサイクル（設計・施工・維持管理）を考慮した、合理的かつ実現性の高いコスト増加を抑制するための方針及び具体的提案	ライフサイクル（設計・施工・維持管理）を考慮した提案であるか。	優れている	5.00	10.00×5人=50.00
		やや優れている		
		普通である		
		やや劣っている		
		劣っている		
	合理的かつ実現性の高いコスト増加を抑制する提案であるか。	優れている	5.00	
		やや優れている		
		普通である		
		やや劣っている		
		劣っている		
合 計 （少数点第2位四捨五入）				140.0

【テーマ2】

評価項目	着眼点	判断基準	基礎配点	配点計
① 「飼育動物」「来園者」「職員」への負担やストレスを最小限にする、仮設工事および本工事の方針及び施工計画の具体的提案	「飼育動物」「来園者」「職員」への負担やストレスを最小限にする、仮設工事の提案であるか。	優れている	6.00	12.00×5人=60.00
		やや優れている		
		普通である		
		やや劣っている		
		劣っている		
	「飼育動物」「来園者」「職員」への負担やストレスを最小限にする、本工事の提案であるか。	優れている	6.00	
		やや優れている		
		普通である		
		やや劣っている		
		劣っている		
② 来園者に対して工事完成後の期待感を高めるなど、工事中であることによるサービス低下や来園者数の減少につながらないような工夫及び、環境対策やSDGs推進の取組みに関する周知・広報の方針及び施工計画の具体的提案	工事中であることによるサービス低下や来園者数の減少につながらないような工夫のある提案であるか。	優れている	5.00	8.0×5人=40.00
		やや優れている		
		普通である		
		やや劣っている		
		劣っている		
	環境対策やSDGs推進の取組みに関する周知・広報の提案であるか。	優れている	3.00	
		やや優れている		
		普通である		
		やや劣っている		
		劣っている		
合 計 （少数点第2位四捨五入）				100.0

*評価点の計算は下表のとおりとなる。

判断基準	評価係数	基礎配点 3.0 点	基礎配点 5.0 点	基礎配点 6.0 点	基礎配点 9.0 点
優れている	1.00	3.00	5.00	6.00	9.00
やや優れている	0.75	2.25	3.75	4.50	6.75
普通である	0.50	1.50	2.50	3.00	4.50
やや劣っている	0.25	0.75	1.25	1.50	2.25
劣っている	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

6. 見積書評価方法 【最高 120.0 点】(様式 6-1)

評価項目	評価基準	配点
見積提案 (1) 見積書符号 (1) ~ (4)、(6)、(16) ~ (18) の合計工事費	最高点 80 点 最低点 0 点 少数点第 2 位四捨五入 $80 \text{ 点} \times ((\text{予定金額} - \text{提案見積額}) \div \text{予定金額}) \times 8$	80.0
見積提案 (2) 見積書符号 (5)、(7) ~ (15) の 合計の工事費・設計費	最高点 40 点 少数点第 2 位四捨五入 $40 \text{ 点} \times (\text{最低見積額} \div \text{提案見積額})$	40.0

以上